

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 438 号	氏名	川久保 敦
学 位 審 査 委 員	主 査	池田 通	
	副 査	筑波 隆幸	
	副 査	澤瀬 隆	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、必須微量元素である亜鉛の、生物学的初期石灰化過程への影響を基質小胞性ミネラル沈着現象の促進によって証明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 細胞膜系への亜鉛の至適濃度は、アルカリフォスファターゼ活性の上昇を指標に決定した。培養骨芽細胞から分離した基質小胞へのミネラル沈着現象への亜鉛の影響を、放射光による亜鉛、カルシウムの定性・定量分析ならびに SEM、 元素分析によって証明しており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 極低濃度の亜鉛添加群において、放射光による蛍光X線分析、SEM、元素分析によって、ミネラル沈着現象の促進することを実証することができた。今後、初期石灰化現象における亜鉛を含めた微量元素のさらなる調整機構の展開が期待できる。			
以上のように本論文は生物学的石灰化機構の研究に貢献するところが大きく、審査員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			